

☎シルバーだより

あゆみ



No.62
令和5年7月発行

編集・発行／(公社)千葉市シルバー人材センター広報部 ☎260-0843 千葉市中央区末広3-17-15 043-265-0070

令和5年度 定時総会



千葉市生涯学習センター2階ホール

令和5年度定時総会を6月22日（木）に千葉市生涯学習センター2階ホールにて、開催しました。

議事では令和4年度の「事業報告」、「決算・監査報告」及び「役員（理事・監事）の選任」の3件の議案について審議し、いずれも賛成多数で承認されたほか、第4次基本計画についてなど4件の報告を行いました。

総会次第

- 1 開 会
- 2 理事長あいさつ
- 3 表彰
- 4 来賓祝辞
- 5 定数報告
- 6 議長選出
- 7 議 案
 - 議案第1号 令和4年度 事業報告について
 - 議案第2号 令和4年度 決算について
 - 監査報告
 - 議案第3号 役員(理事・監事)の選任について
- 8 報 告
 - 報告事項1 第4次基本計画について
 - 報告事項2 令和5年度 事業計画について
 - 報告事項3 令和5年度 収支予算について
 - 報告事項4 令和5年度 資金調達及び設備投資の見込みについて
- 9 閉 会

表彰について

理事として活躍された方、職群班の班長・リーダーとして活躍された方、安全就業標語の最優秀賞・優秀賞を受賞された方々9名が表彰されました。

〈役員表彰〉

理 事	吉野 博一
理 事	平山 範義
理 事	高山 秀隆
理 事	藤崎 とも子
理 事	塙 優己
理 事	山本 三七雄

〈班長等表彰〉

会 員	沖野 泰也
会 員	由利 茂
会 員	小松 重雄

〈会員表彰〉(安全就業標語)

(敬称略)

役員について

新役員体制

理 事 長	稲生 勝義
副理事長	稲場 洋子
常務理事	中村 浩一
理 事	石出 英子
	泉田 茂
	江口 榮一
	加藤 日出男
	佐久間 正敏
	佐々木 一井
	佐藤 輝子
	島岡 晴之
	新村 都道
	鈴木 健司
	高橋 公子
	鶴井 啓治
	戸川 透
	中川 正克
	山中 玲子
	渡辺 弘
	浅井 法久
	大田 洋介

(敬称略)

監 事

大田 洋介

(敬称略)

退任された理事

原 誠司	理事 長
森田 峰雄	常務理事
鈴木 實	理事
高山 秀隆	理事
塙 優己	理事
平山 範義	理事
藤崎 とも子	理事
山本 三七雄	理事
吉野 博一	理事

(敬称略)



新理事長ご挨拶

理事長
稲生 勝義

令和5年6月22日の定時総会並びに第3回理事会におきまして、会員並びに理事の皆様のご賛同をいただき、当センターの理事長に就任いたしました稲生勝義（いのう かつよし）でございます。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げますとともに、会員の皆様お一人おひとりが高齢者の生きがいの充実と地域社会への貢献に多大なご尽力を頂いておりますことに對しまして、深く感謝と敬意を表する次第でございます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響や改正高齢者雇用安定法による雇用延長など、シルバー人材センターを取り巻く環境は全国的に厳しさを増しております。当センターにおきましても、令和4年度が最終年度の「第3次基本計画」における会員数、

契約金額及び重篤事故の目標（会員数3,000人、契約金額12億円、重篤事故0件）は達成できませんでしたが、令和4年度は入会会員数が直近5年間で最大の414人、退会会員数が最小の323人（91人増）となり、派遣事業の契約金額が対前年度比17%増となるなど、少し回復の兆しも見えてきております。5月に新型コロナウイルスの位置付けが変更され、今後とも留意が必要ですが、日常生活や社会経済活動などにも変化が見られるようになってきました。

さて、今年4月に当センターは35周年を迎えました。市民、企業や関係機関等のご理解ご協力と、そして何よりも多くの会員の皆様の並々ならぬご尽力で構築されている当センターのこれまでの成果をしっかりとつないでいきたいと思っております。今年度からスタートする「第4次基本計画」に基づき、「会員の増強」、「就業機会の拡大」、「安全・適正就業の推進」、「事業推進体制の強化」の基本方針を実現するため、甚だ微力ではありますがありますが、チャレンジングに、粘り強く、かつ社会経済状況の変化に対応する柔軟性をもって各種施策に取り組んで参りたいと考えておりますので、会員の皆様のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。また、安全就業意識の高揚を図るた

め、安全就業標語「安全は 行動前の「一呼吸」を各種会議等におきまして唱和いたしますので併せてご協力をお願いいたします。

最後となりましたが、改めまして、会員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

新常務理事ご挨拶

常務理事
中村 浩一

初めまして、このたび、公益社団法人千葉市シルバー人材センターの常務理事 兼 事務局長となりました中村です。

シルバー人材センターの業務内容につきましては、私も、これから日々理解を深めて行かなければと肝に銘じているところです。

シルバー人材センターは、簡単に申し上げますと、60歳以上の皆様を応援・支援を行えるよう業務を行っているところです。

この業務を推進するため、セン

ターに御登録いただいている会員の皆様に加え、多くの企業の皆様にも御支援をいただき、感謝申し上げます。

今後ともよろしくお願いいたします。

今後は、60歳以上の方がますます増加されることから、センターもここからが大きな変革時期を迎えることになると考えます。

私もこのような状況を踏まえ、非常に微力ではありますが、新たなセンターに貢献できるよう努めて参ります。

よろしく申し上げます。

最後に、前任の森田様、大変お疲れ様でした。お体に留意して、今後とも御協力のほど、節にお願いいたします。



会員紹介について

当センター会員としていきいきと活躍されている方をご紹介します。

取材は坂本尚登会員にお願いしました。

■日々異なる顧客と接することですトレスのない仕事を楽しむ

いま各分野で女性活躍が話題となっているが、シルバー人材センターの全国団体でも、シルバーで働く女性会員に「シルボンヌ」という愛称をつけた全国大会を開催するなど、女性会員の活躍推進に力を入れている。

本欄でも今まで多くの女性会員の活躍ぶりを紹介してきたが、その内容は、家事援助、屋内清掃、保育補助、封入、安心電話員など、どちらかと言えば女性が得意とする分野の仕事が多かった。それに対して今回紹介する鈴木美津子さんは、植木班、除草班という、男性会員が多い現場の仕事を選択されている。しかも、事務職の経験が長く、草木を相手にするような仕事の経験はないにも拘わらず、である。今では日々異なる個人客



鈴木 美津子 さん

と接することに喜びを感じている鈴木さんに末広事務所でお話を伺った。

長年、県職員として学校事務に携わってきた鈴木さんがシルバーに入会したきっかけは、自宅マンションの植木剪定を千葉市シルバーに依頼したこと。作業に来た会員さんから定年退職したら、シルバーに入会したらと勧められたそう。

翌年に定年を迎えた鈴木さんは勤めに従って千葉市シルバーに入会、植木班に登録して12月まで働いた。しかし、1月以降は植木班の閑散期に入るの、ハローワークで募集していた千葉市シルバーの毛筆班担当に応募し、翌令和3年3月まで事務職として働いた。翌4月にシルバーに再入会し、植木班と除草班の仕事を掛け持ちして今日に至っている。

植木班と除草班は、班員を区ごとにグループ化し、区内の仕事を分け合っている。鈴木さんが住んでいる若葉区は、植木班に約20名（内、女性は1名）、除草班に約30名（内、女性は4名）が登録している。植木剪定や除草は、同じ顧客から継続的に依頼が来ることが多く前回と同じ会員を指名されることが多い。一方、新規の依頼に対しては、リーダーやサブリーダーが現場を見て人数を決め、メンバーに依頼する。

植木班に入会して、最初は先輩会員が刈った枝を1分くらい

に切って束ねたり、細い枝葉をビニール袋に入れたりする補助的な仕事に従事した。中には少し刈らせてくれる会員もあり、また年2回開催される講習会に参加したり、本を購入したりして徐々に知識を増やしているが、まだ一人で任されるまでには至っていない。

除草の仕事では、若葉区の班員を2人紹介してもらった。2人も80代で、余力を残して次の日の作業に備えようということで、鈴木さんに声がかかるようになった。その結果、従来は一人で8時間かかっていたところを二人でやることによって4時間で済ませられるようになった。取材した6月は除草の繁忙期で、週に2、3日は働いているそう。

鈴木さんは、シルバーで仕事する良さを次のように話してくれた。

「ストレスのない仕事なので、女性にもっと参加してほしい。仕事がきついんじゃないかという印象を持たれるかもしれないが、一つの仕事を自分だけでやるうというのではなく、何人かでやって早く終わりにしようという傾向が強い」。

最後に「植木班、除草班ともにやさしい人が多いので気兼ねなく入っていたきたい。女性だけでチームを組めたら最高」という鈴木さん。この分野での女性活躍のリーダーとなれることを期待しています。



鈴木美津子さんインタビュー写真



植木剪定講習会の様子



除草作業就業中の様子



女性活躍推進について

女性会員の活躍推進および入会促進等を図る目的で、令和4年度より定期的に女性活躍推進会議を開催しています。

今回は第2弾のイベントとして「メイクアップ講座」を開催しました。

講師は前回のスキンケア講座に引き続き、ヤクルト販売(株)の化粧品部の方々にお願いしました。



最初は少し恥ずかしそうにしていた皆さんですが、眉の書き方からはじまり、チークや口紅をつけると、別人のように表情もイキイキ ✨

「かわいい」「綺麗」の言葉に、最後は全員にっこり笑顔で講習を終える事が出来ました。

マスクの着用が緩和された事もあり、今回の講座をきっかけにより一層楽しくお出掛けを楽しんでいただきたいと思います。

今後も会員の皆さまに楽しんでもいただけるイベントを随時企画していきます！！

詳しい予定は事務局だよりをご覧ください。

また良いアイデア等ありましたら、ぜひ事務局までご連絡下さい。



襖・障子・網戸張替え講習会

網戸張替え講習会

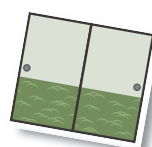
開催日4月19日（水）

襖・障子張替え講習会

開催日5月24日（水）～5月25日（木）

花見川区にある犢橋地域福祉交流館 1 階の犢橋作業所にて、襖・障子・網戸の張替え講習会を開催しました。和やかな雰囲気の中、実技講習が行われ、参加会員が熱心に取り組んでいました。

張替え後は、仕上がり具合の感想を和気あいあいと話していました。



**襖・障子張り班
会員を募集しています。**

興味のある方は、
お気軽にお問い合わせください。

☎ 043-265-0070

安全就業について

★ 令和5年度～7年度安全標語 ★

『安全は 行動前の 一呼吸』

安全就業はシルバー人材センターにとって最も重要な課題のひとつです。
組織一丸となって、事故ゼロを目指していきましょう！！

・焦らず、慌てず、ゆとりをもって作業に取り掛かることが安全を守ることから、行動前の一呼吸が大切であることを標語とした。



会員の広場

「黄昏シルバーの ザレゴト 虚言アラカルト」

井上 富夫 会員

シルバー人材センターの会員になって久しい私ですが、年を重ねるにつれて身体が動かなくなってきたことに負いを感じる日々が過ぎていきます。

老いることは自然の摂理であり、私たち一人一人が避けることはできません。年を重ねるにつれて、私たちの身体的な能力やエネルギーは減少し、日常生活にも変化が現れてきます。私自身も歳を重ね、何もせず毎日を過ごすことが増えてきたことについて、深く考える機会を得ました。

★コロナも収束し、昨年の5月から高洲コミュニティセンターで月に一度の「映画上映会」を再開しています。体力的な制約から会場のセッティングから上映まで、コミュニティセンターの所長にお願いしています。私は上映作品の選定、ポスター、チラシ、梗概などを作成しています。上映作品は千葉市視聴覚ライブラリー的一般上映権のある作品に限られています。そのため、同じ作品が何度も繰り返し上映されることになりました。

★最近、アマゾンのプライムビデオで『ぼけますから、よろしく願います』というドキュメンタリーを視聴しました。東京で映像関係の仕事をしている娘が何年もかけて制作した感動的なドキュメンタリーです。78歳でボケ始めた母親を95歳の父親が看病すると

いう、まさに老々介護のドキュメンタリーです。ぼけ始めた高齢者たちの生活や家族との関わりが描かれており、私自身もこれまでの経験と重ね合わせることができました。以前は忙しく、目標を追いかけ、多くのことに取り組むことができたが、今では身体的な制約やエネルギーの低下により、そのような活動が難しくなりました。これまで培ってきたスキルや能力が次第に役立たなくなっていく様子に、少し無力感を覚えることもあります。

★何もやることもなく漠然と日々を送る中で、ふとYouTubeで「日・ユ同祖論」に出会いました。2700年前にアッシリア人に追放されたイスラエルの失われた10支族のうち1支族が日本に渡ってきたという話です。考古学的に解明された「神代の時代」の實在を裏付けるもののようです。日本は農耕・文化や人間までも中国や朝鮮半島を経由して渡来した朝鮮族や中国からの混血子孫とされてきましたが、最近のDNAの結果からは、日本の男性のY染色体では大部分の遺伝子が中国や朝鮮族とは明らかに異なることが分かりました。茂木誠氏の「日・ユ同祖論」や田中英道文学博士の「泰氏ユダヤ人は日本に同化した」といった動画をぜひYouTubeで参照ください。

★団塊の世代では、戦後GHQによって禁止された「神代の時代」を私は小学校で習いました。また、「紀元2600年（S15年・1940）」の提灯行列も記憶に残っています。考古学の新



「初夏」

早川 武夫 会員

千葉県芝山古墳群より発掘された
ユダヤ人像の埴輪



たな発見により、消え去ったシユメー
ル文明が日本のルーツである可能性も
あるかもしれません。私はこんなこと
を妄想しながら日々を過ごしています。
「必ず死ぬことを知っていて、なぜ生き
ているのか？」という問いについても
考えてみることにしました。



「片貝海岸-3」



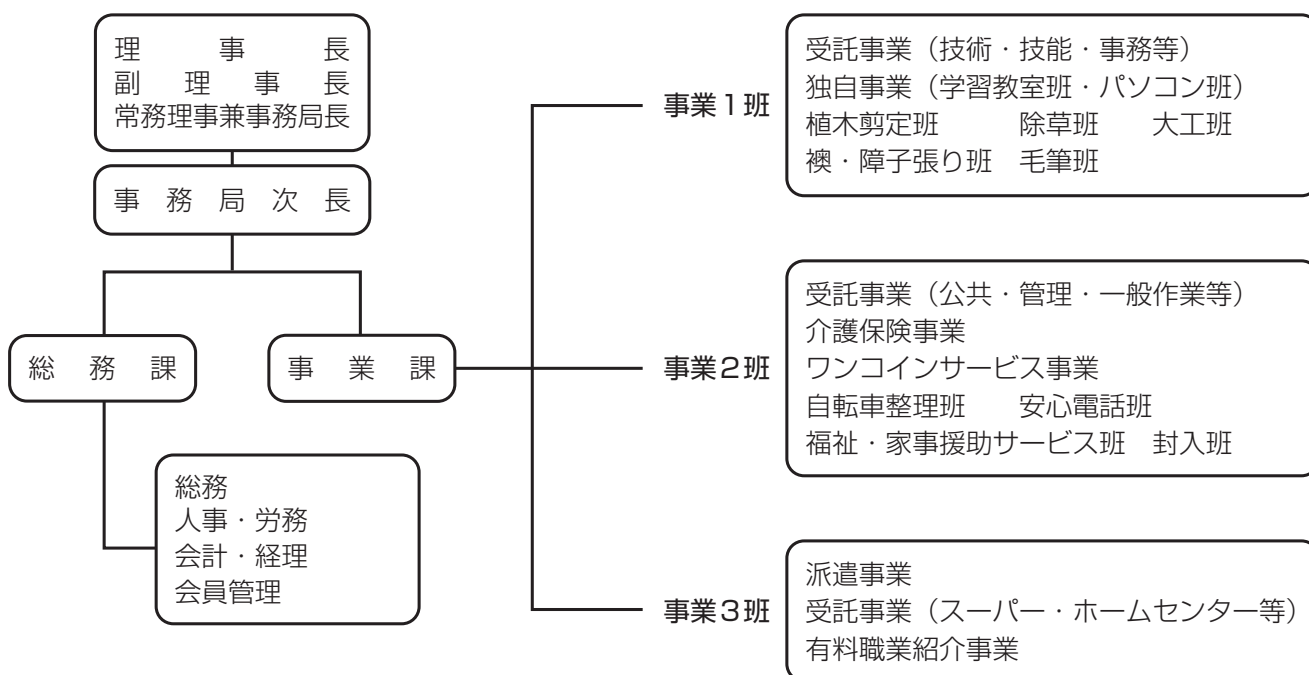
「片貝海岸-1」

矢野 裕子 会員

事務局からのお知らせ

令和5年度事務局体制

令和5年度より事業課の体制が大きく変わりました。



新規職員紹介

4月より2名の職員が新規入職しました。

総務課 伊藤 課長

事業課 吉田 主査（植木剪定班）

総務課、事業課にそれぞれ配属され、事務局に新たな戦力が加わりました。

二人とも経験豊富な方たちですので、お困りごと等ございましたらご相談ください。



伊藤 文一



吉田 栄司

Twitter（ツイッター）と Facebook（フェイスブック）をやっています。

日々の出来事などを随時更新しています。
ぜひご覧ください。

ホームページ



Twitter



Facebook



あとがき

暑中お見舞い申し上げます。

コロナ感染による規制は大幅に緩和されましたが、酷暑による熱中症には十分にお気を付けください。本年度は事務局の体制だけでなく、理事役員についても複数名の方が交代されました。シルバー人材センターの新体制を盛り立てるため、会員の皆様には一層のご協力をお願いするところであります。

表紙の題字「あゆみ」は、毛筆班 鳥羽正子 会員の書となります。